

日本とミャンマーの手づくり絵本 出張読み聞かせ会



～子どもたちに異文化理解の心を育む時間を～

DAC未来サポート文化事業団について

DAC 未来サポート文化事業団は「健全な青少年の育成」に資する活動を事業として展開しています。
主軸となる活動のひとつに「ミャンマー尼僧院支援」があります。当事業団の母体となるDACグループは、2017年より生活に必要な水タンク、水浴場、発電機などの寄贈や、現在は主に食料支援を継続しております。また、2021年からグループ内の若手中心の社員と尼僧院の子どもたちが年に一往復する文通プロジェクトにより、異文化・異世代交流を継続しております。



「こんにちは、ミャンマー」誕生ストーリー

日本とミャンマーそれぞれの国の子ども達が作画を担当、挨拶、食事、風習など文化の違いについて紹介したオリジナルの絵本です。
みらさぼを運営しているDACグループはミャンマーにあるタンルインヤダナー尼僧院を支援しています。
ミャンマー側の作画を担当してくれたのは、タンルインヤダナー尼僧院の子どもたち12名です。日本側の作画を担当してくれたのは、みらさぼが主催する絵画・作文コンクールで過去に受賞した子ども達3名です。
みらさぼのオリジナルキャラクターめばえちゃんが文通するミャンマーの友達に会いにいき、そこでお互いの文化を紹介し合うというストーリーとなっています。

絵本づくりのきっかけ

2021年当時、コロナ禍により、様々な活動が制約される中、地域の小学校などで行われていた読み聞かせの図書ボランティア活動も停止を余儀なくされてきました。
このボランティア活動に参加していたグループ会社の社員が、このような状況の中でも何かしら子どもたちの情操教育に携わりたいという思いから発案しました。



ミャンマー尼僧院の子どもたちが挿絵を描いている様子



絵本「こんにちは、ミャンマー」表紙



コンクールの受賞者が挿絵を描いている様子

<作 画>



左側の絵：ミャンマー／尼僧院の子どもたち12名（5～15歳）
右側の絵：日本／当事業団が開催する小中学生を対象にした「みらさぼ絵画・作文コンクール」で過去受賞した子どもたち3名（当時7～15歳）

<テキスト>

一般社団法人 DAC未来サポート文化事業団 大人3名他

子どもたちはこんな経験ができます



- ✓ 子どもの頃から、日本と異なる文化に触れさせたい！
- ✓ 様々な習慣、価値観を知る事で多様性を育みたい！
- ✓ グローバル時代に欠かせない異文化の理解を深めたい！
- ✓ 幼いうちから世界に興味を持つきっかけが欲しい！

＜活動のねらい＞

この絵本を通じて日本の子どもたちがミャンマーを知るきっかけとなり、言語や文化が異なる人々とも互いを認め、わかり合える社会性を育む一歩になることを望んでいます。



＜タイムスケジュール＞

時間：基本50分～1時間20分
(参加人数により異なります。)

- ワークシート配布
- ミャンマーってどんな国？ (7分)
- 「こんにちは、ミャンマー」朗読 (8分)
- ミャンマーの文化を知ることができる体験ゲーム (30～60分)
- 記念撮影等 (5分)

※ワークシートは後日、ご提出ください。
※前後時間変更は、ご要望に応じます。

＜対象＞ 小学生推奨



＜ご負担いただく費用＞

- ①講師往復交通費
- ②スタッフ交通費 (東京都内無料)
- ③資料費：110円 (税込) / 参加者1人当たり

※対象年齢外をご希望の際、上記金額は適用外となります。

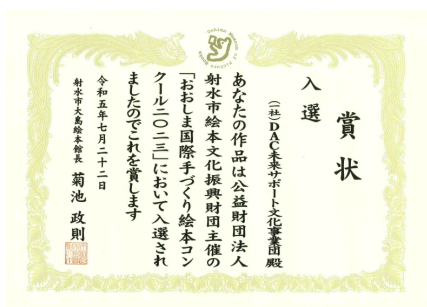
※資料代は印刷費ではございません。

※講師謝礼は必要ございません。

※ご意向に応じ、ご相談に応じます。

＜その他の例＞

- ・日本をテーマに絵をかいてみよう「絵画教室」
- ・絵本を作ろう「絵本教室」等



おしま国際手づくり絵本コンクール

富山県にある射水市大島絵本館の開館を記念してスタートし、2023年で30回目を迎えたコンクールです。2023年度は215点の作品が寄せられました。「こんにちはミャンマー」も入選することができました。左の写真は表彰式の様子です。

【審査員コメント】

- ・グローバルな作品であること
- ・共同で作った作品であるということ、同じような形で描いた作品はなく、独自性を評価

DAC未来サポート文化事業団 (担当：池田・小林)

所在地：東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO13F

TEL：03-6860-3951 (平日：9：00～18：00)

MAIL：info@miraisupport.or.jp

【お問い合わせ】

